

2025年度 第9回北海道レフェリーアカデミー 事業報告

報告者:鈴木辰汰(オホーツク地区)

【日時】2025 年11月8日(土) 11月9日(日)

【1 日目】

会場:大和ハウスプレミストドーム

時程:9:30 集合

11:30 試合観戦・フィードバック (CONSAOLDS vs 北海道コンサドーレ旭川U-15)

上記の試合を北海道のユース審判員(オホーツク地区所属鈴木陽和氏も主審として参加)が行うということで、アカデミー生の自分たちがその試合を担当した審判員に対しフィードバックを行った。自分がユースで活動していたころでは考えられない舞台であるにも関わらず堂々としている姿、審判員としての技術などを見て、自分自身危機感も生まれ、より一層努力しなければならないと感じた。フィードバックを始めて行ったが、どのように審判員の考えを引き出すか、自分の考えを押し付けずに伝えることができるか考えることが多く大きな学びとなった。また、言語化するという活動で自分が審判員としてフィードバックを受ける立場になったときによりよいものとなるように自分のレフェリングを言葉にできる力の大切さを再認識した。

14:00 観戦研修 (明治安田生命J2リーグ 第36節 北海道コンサドーレ札幌 vs大分トリニータ)

プロの試合を審判員に注視して見ることでいつも気にしていなかった審判員の試合中の表情やベンチとのかかわり方、インカムを使用したコミュニケーションの取り方など現地でしかわからないことを見て感じる事ができた。また、前回のアカデミーで学んだ動きとポジショニングについて西村雄一氏の使う用語を基に審判員同士で分析することができ、自分たちの理解を整理することができたとともに、アカデミーでの学びのつながりを実感した。

16:30 解散

【2 日目】

会場:札幌大谷高校丘珠グラウンド、SSAP 会議室

時程:9:20 集合

9:30 Sprint + Yo-Yo Test

結果 Sprint 平均… 5.69

Yo-Yo Test… 50本

上記のように Yo-Yo では1級基準をクリアしているが、Sprint では到達することができなかった。この結果を受け止めオフシーズンのトレーニングを行っていく。

時程:11:30 昼食

12:40 講義①「オフシーズンのトレーニングについて」担当:岡田渉氏

今回のテストと以前行ったテストの比較を行い、自分の今シーズンの成果と課題を分析したのちに、オフシーズンの効果的なトレーニング方法について学び自分のオフシーズンのトレーニング計画を立てた。

13:40 講義②「虎の巻のブラッシュアップ」担当:古曾部統太郎氏

今年一年かけて作ってきた「虎の巻」をもう一度ブラッシュアップした。アカデミーが始まったころに作成したものがより簡潔に具体的になっていることがよくわかり自分たちの成果を実感した。この虎の巻を次年度のレフェリングに活かしていくのは自分次第なので自分で振り返りながら行っていきたい。

14:40 グループワーク「2026年にチャレンジすること」

次年度にチャレンジしたいことをについて四人で話し合い、次年度のアカデミーのテーマを作成した。来年一年間は今年よりもより一層互いに切磋琢磨し合いより良い審判員になることを決めた。

次年度のアカデミーテーマ 『切磋琢磨』

次年度の個人目標 『基本を確実にする。トライ&エラー。とにかくやり切る』